

2023年夏渡航



2023年夏渡航



2023年夏渡航







英語の授業に積極的に参加することで英語力が向上しました！また、バディ達との会話を通じて英語へのハードルが下がりました！

システム理工学部 生命科学科 1年 木村友哉さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

英語の必要性を感じつつも、日常的に英語の学習に十分な時間をかけられず、また、実際に英語話者と話す機会も取れずにいたため、短期集中できる上に、自分の英語力がどこまで現場で通用するのか確認することができるこの語学研修に参加したいと考え、参加に至りました。マレーシアUTMIは、英語を使った授業だけでなく、一人一人に現地学生のバディがついたうえで、マレーシアの文化を英語で学んだり、日本では体験できない多くの体験をしたりすることが多く、体験的に英語を学ぶことができると感じ、参加への意志が強くなりました。

滞在期間中は、平日は基本的に8:30 AM~5:00 PMに英語授業や実習に参加し、具体的には発音の違いを意識し単語の違いを再認識したり、文章の書き方を習い自然な表現の仕方が発想できるよう練習したり、様々な場所に行きインスタグラムのリール動画を通して体験や感想を英語でアウトプットしたりしました。また、授業後や休日にはバディ達とショッピングモールやナイトマーケットに行ったり、日本ではできない多くの経験をしたりしました。バディ達はとても親切かつ気さくで、なんでも話せる雰囲気を作ってくれます。マレーシアの学生も日本語を学ぶようで、日本語が少しわかるバディもいます。今学んでいる内容や将来の展望について語り合えたことも貴重な経験となり、帰国後の今でも、マレーシアの学生に負けないように専門を極めようというモチベーションにつながっています。

短期間のプログラムでしたが、得られたものは非常に大きかったです。それはリスニング力が向上したというもありますが、バックグラウンドの異なる友人達とどう物事を進めていくかという国際的な感性を身につけられたことや楽しく英語を話せることで英語での会話のハードルが下がったことなど、数値化できない学びもたくさんありました。一緒に参加した芝浦の学生とも、今回の留学がきっかけとなって学部、学科、学年を超えた友人をつくることもでき、帰国後の学生生活も参加前と比べてより充実したものとなっています。今後は、語学研修で培った力をベースに、グローバルPBLなど他の上位プログラムへの参加を考えています。



楽しくてあっという間の2週間でした！！
英語で話すことのハードルが下がりました！

工学部 機械工学科 1年 飯田 美咲さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア・UTM

高校生の時から英語が苦手でしたが、頑張ってできるようになりたいと思っていました。語学研修があると聞いて、この機会を逃すのはもったいないと思い、思い切って参加を決めました。行き先をマレーシア工科大にした理由はほかの行き先に比べてお得だったのと、buddy制度というマレーシアの人が1人ついてくれる制度にとっても惹かれたからです。実際マレーシアの人はみんなとても優しく、楽しくて私が言いたいことを理解しようと努めてくれたので、消極的な私も焦らずに話すことができました。

実際プログラムで体験したことを紹介します。朝8時に寮の前に来るバスに乗ります。Tea breakと lunchを挟みながら17時まで授業を受けます。お昼はbuddyが学校の食べる場所を案内してくれます。私はbuddyの仲のいいマレーシア人の学生3人とその日本人buddyの6人で行動することが多かったです。学校が終わり寮に戻った後buddyが夜ご飯に誘ってくれます。マレーシア料理は辛いものと甘いものが多いですが私は口に合ってとても美味しかったです。授業のない日はbuddyがジョホールバルの街を案内してくれます。ジョホールバルは自然と動物にあふれていて、見ごたえのある場所がたくさんあります！1番印象に残ったのはbuddyの誕生日会をやったことです。英語でバースデーカードを書いたり、マレーシア人の友達と打ち合わせしたりドキドキしながら準備しました。結果は大成功でとても喜んでくれて私もうれしかったです。

最初は緊張でうまく話せなくてどうしようと思うこともありましたが、最後の方には自分の言いたいことをきちんとbuddyに伝えることができるようになっていました。文法よりもとにかく話すことが大事だと理解することができました。英語がうまく話せないから参加を迷っているという人もいると思いますが行ってみればどうにかなります！笑



現地の人との交流によって実際の英語の使い方を学ぶことができました。言語以外にも様々な価値観や文化を学びました

工学部 機械機能工学科 2年 尾上 隆人さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

海外の方とゲームでコミュニケーションを取ることが増えてから、もっと英語でコミュニケーションを取りたいと考えるようになりました。日本人の参加者はたくさんいて、それと同じ人数のマレーシアバディがいます。一人につき一人のバディと一緒に行動することができるので、英語を話す機会が想像していたよりもたくさんあって充実していたと感じます。授業と放課後活動という二つのセッションを織り交ぜることにより、学習しながらもそれを生かせることで一石二鳥の体験ができたのではないかと思います。授業時間内にも、ショッピングモール、スポーツ、マングローブの自生した森林探索など様々なアクティビティが含まれているため毎日が濃い生活になっています。放課後、ある日は仲の良い友達とそのバディで食事をしたり、また別の日にはマレーシアバディの間で仲の良い友達と一緒にカラオケやボーリングをするということがあり、友達作りが苦手な方や話しかけるのが不得意な方でもよい経験ができるのではないかと思います。

24時間を英語とともに過ごすため、海外で生活する上でのあらゆるシチュエーションの英語を二週間で体験し身につけることができました。食事が舌に合わないということはなく、物価も円安の現在と比べてもとても安いので、もし迷っている方がいらっしゃったらマレーシアをおすすめします。



留学で英語力はもちろん、人生の中で大きく成長することが出来ました。

工学部 材料工学学科 1年 鈴木桜子さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： マレーシア・UTM

大学受験デモでつけた英語の知識を実用性のあるものにしたく、また将来英語を使って仕事をしたいと思っているためまずは2週間という期間でマレーシア工科大学への留学を決意しました。

バディー制度があり英語力の向上を見込めたため、このプログラムにしました。

滞在中は午前午後でそれぞれ3つの授業を受け、放課後はバディーとの自由行動という形になっています。授業内容は英語をきちんと学ぶものから体を動かして楽しむものまで、さまざまな形の授業を受けることが出来ました。すべて英語ですが誰でも理解することが出来る難易度のものになっていました。

放課後の自由行動は、バディーによってかなり違いました。いろんなところに行き様々な経験が出来たところもあればバディーが忙しく夕食を部屋で一人で食べたという人もいます。

全体を通してはとても満足度の高いプログラムでした。授業の一環でマレーシアの文化に多く触れることが出来、英語力とは別に貴重な体験が出来ました。しかし日本人全員が同じ寮に滞在し、行動をするため完全に日本語からの隔離は不可能です。



バディが毎授業後遊びに連れて行ってくれたので毎日が充実していました!!

工学部 材料工学科 2年 秦野 渉人さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシアUTM

このプログラムで特に充実していると感じたのはバディ制度です。現地の学生と一対一でバディを組むことになるので嫌でも英語を話すこととなりますが、彼らは英語の教職をとっておりゆっくり話してくれるので、英語が苦手な人でも安心できると思います。さらに、授業後はバディと日本人が4対4くらいで行動するので1対1で話せなかったら気まずい等の不安もありません。

また、彼らはとても友好的で授業後には車やタクシーで街に外食のために連れ出してくれます。マレーシアはアラビア、中華、インド、マレーシア系の料理があるので毎晩の食事が楽しみでした。そのほかにも遊園地やナイトマーケット、20数人でのボーリングなど、楽しい経験をたくさんさせてくれました。この2週間はとても充実していて、あっという間に感じました。

物価について：マレーシアの物価はとても安いです。ブランド品を買わなければ、2週間で2万円あれば足りました。食費に関しては、日本円で300円あれば満足に食事ができ、900円あれば現地的高级料理店で食事ができます。また、特に驚いたのは日本であれば800円はするであろうマンゴーを丸々使ったジュースがなんと100円だったことです。大学のコインランドリー付近にあるので行った際はぜひ試してみてください。

授業について：基本的に中学生レベルの英語しか扱わないので苦痛に感じることはないと思います。また、課外授業(大学散策やが多いので授業という授業は1週間くらいしかありません。

治安について：自分も初めての海外で不安でしたが、夜に一人で出歩かなければ大丈夫です。銃撃戦にもスリにも遭遇しなかったので安全だと思います。

食事について：基本的に辛いです。自分も最初は鼻血を出しながら食べていました。ただ慣れればおいしく食べられます。ただ、飲み物に砂糖がたくさん入っているので、糖尿病に気を付けなよ、といわれます。

英語で話す機会がとても多いので英語で話すことに対する抵抗がなくなりました！

工学部 材料工学科 1年 佐口 那旺さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

このプログラムに参加したのは単純に海外に興味があったからです。向こうの人と話してみたいと思い参加しました。正直英語には自信がなかったので確実に話す機会を作れるであろうバディ制度が魅力的だと思いました。

向こうの授業は毎日朝から4～5時くらいまで行っていました。授業内容はそれほど難しくないので安心しました。アクティビティが多く授業に組み込まれているため楽しくうけることができました。

また、数日バディと1日行動する機会がありました。なので毎日授業ばかりではなく割と多く遊ぶこともできました。そこで仲良くなったバディたちと英語で多く話せるのでとても良い経験でした。

海外に興味はあったけれども英語を勉強することは嫌いでした。しかしこのプログラムに参加したくさん英語で話す経験を得たことで、もっと英語をうまく話せたらもっと楽しいだろうなと思い、とても英語の学習に対するモチベーションが上がりました。また、TOEICなどの試験を帰国後まだ受けていないのですが、リスニング力はかなり上がったと思います。向こうの人たちだけでなく、一緒に参加した人たちともかなり親睦を深めることができました。ほぼ初対面でしたが、先輩後輩関係なく仲良くすることができてとても楽しかったです。

迷っているなら参加してみるべきです！
英語が得意でなくても楽しめます。

システム理工学部 生命科学科 1年
矢野遥菜さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア・UTM

私がこのプログラムに参加したのは、「2人に1人は何かしらの留学プログラムに参加している」ということを説明会で聞き、私も参加しておこうといったとても軽い気持ちで参加しました。正直、プログラムがはじまったばかりの頃は、全然英語も話せないし、聞き取れなくて何度も聞き返したりしていました。向こうの生活様式や、ごはんにも慣れず、日本に戻りたいと思うことも多くありました。しかし、慣れてくるとマレーシアの人たちともゆっくりではありますが会話ができるようになってきて、たくさん友達もできました。放課後は、バディの人たちとご飯を食べに行ったり、遊びに行ったり自由時間は勉強のことなど忘れてたくさん遊び、とても楽しかったです。授業でも英語力は身についたと思いますが、私的には日常生活でバディの人たちと会話をする中で培った英語力のほうが大きいかと思いました。2週間というのは長そうでとても短かったです。ただし、ごはんやトイレなど慣れないものも多くあるので、1か月のプログラムというのはもう少しちゃんとした覚悟を持って参加したほうが良いかなと思いました。

今回のプログラムでは、英語力もそうですが、マレーシア文化を多く学ぶことができました。トイレにはトイレットペーパーがなかったり、ごはんはスパイシーなものが多かったり、イスラム教の人が多く、お祈りの時間があったり、文化を超えた生活はきついと思うこともありましたが、新しい世界を知れたという点では本当に興味深いことばかりでした。

また、マレーシアの人たちはとても優しく帰るときには本当にまだここにいたいと思っていました。絶対にまたあの人たちに会いたいです。もちろん日本の人たちとも仲良くなれます。それくらい良い経験ができるのでぜひ行ってみてください。



現地学生との交流で短期間で効率よく英語力を身につけることができました！

システム理工学部 生命科学科 4年 加藤 菜々子

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

語学研修は1年2年が対象だと思いますが、コロナ禍で参加できなかったために4年で参加しました。日中は朝から夕方まで授業でしたが、先生の英語がわかりやすかったことに加え、わからないことは近くのバディに聞くことができたので、授業が理解できないという負担は少なかったように感じます。1コマが2時間である点は疲れるかもしれませんが、授業中の飲食とトイレの離席が認められているので、リラックスして授業を受けることができました。昼食と夕食はバディと食べる人がほとんどですが、「何を食いたいか」「どこに行きたいか」など自分の意見を求められることが多かったです。辛い物が苦手な方は絶対に「I cannot eat spicy food」と言いましょう。マレーシアの人の言う「ほとんど辛いくない」は日本の「激辛」です。

車移動が多かったり朝から深夜まで連れ回されるようなこともあるので、体調管理には注意した方が良いです。また、飲食店には必ずと言って良いほど猫がおり、宿泊場所のスカラーインでも虫が出るので、アレルギーをお持ちの方は気をつけたほうが良いと思います。自分のバディに関わらず、多くのUTM学生が助けてくれるので多くの友達を作ることができました。InstagramやLINEでの交流もあるので、帰国後も連絡が取れる点も良いと思います。マレーシアではK-POPと日本のアニメ・漫画がとても人気だったので、そういった話でも盛り上がれると思います。現地学生の交流が多いため英語力も身につけやすいです。SIT学生同士でも学部や学科を超えて友達を作ることができる点も魅力だと思います。

バディたちとの交流によって圧倒的な英語力が身につきました！

工学部電気工学科2年 志田 玲音さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： UTM2週間

英語の読み書き聞き能力がとても低かったため、自らを英語を使わざる負えない状況に置きたいと思いこのプログラムに参加しました。初日は見るもの聞くもの食べるものすべてが初めてで、楽しみな反面、不安も感じていました。しかし各それぞれにつくバディーたちにあらゆることを教えてもらいながらいろいろな経験をすることができました。もちろん共通言語は英語なので最初の方は少し伝わりづらい部分もありましたが、日に日に耳も慣れてきて、また英語も話せるようになってきて、最後の方には流暢なコミュニケーションを取れるようにもなりました。

目標としていた「英語力の向上」に関してですが、自分としては想像以上に成長できたと感じています。最初は聞き取れなかった英会話も日に日に聞き取れるようになりました。また、日本とは違うあらゆる景色や文化などに実際に触れることにより、自分の中の世界も広がり、価値観が変わったようにも感じました。

二週間という短い時間でしたが、本当に沢山の思い出ができ、また自分を成長させることが出来たので本当に良かったです。



一人一人にバディーがつくので英語で話す機会が多く英語力が向上したと思います！

工学部 電気工学科 2年 高階 博身さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

このコースの魅力はなんといっても芝浦工大生一人につき現地のUTMのバディー一人つくことだと思います。マレーシアでの行動のほとんどを共にするので必然的に英語力が向上すると思います。また、バディーは現地での学校外の生活についても手伝ってくれます。具体的には、マレーシアの料理はとても辛いので辛い物が苦手な私のためにわざわざ辛い料理屋さんに連れて行ってもらったことや、洗濯をする必要があるのでコインランドリーの使い方を教えてもらったこと、現地では水道水が飲めないため飲料水を大量に購入するためショッピングモールに連れて行ってもらったことなど様々な面でサポートしてもらえらるため安心して生活を送れました。

滞在期間中は6時半に起床し、8時半から授業が始まります。13時から14時半までのお昼休憩を取った後17時まで授業があり、放課後はバディーたちと夕食に行くなど自由時間となっていました。授業は最終的に現地での生活についてみんなの前でプレゼンテーションすることが目標となっており、プレゼンテーションに向けた授業が行われます。

初めてのマレーシアで最初は不安もたくさんありましたが、現地のバディーはみんな優しくフレンドリーでとても充実した2週間を過ごせました。また、芝浦工大生はもちろん現地の友人も多くでき思い出がたくさんできました。英語力以外の面でも成長を感じられる2週間でした。



一日中英語中心の生活でリスニング力Up

工学部 機械機能工学学科 1年 大橋 駿さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

将来就く仕事が国際的なもので外国へ行く経験をしておいたほうが自分の自信向上や異文化体験を詰めるため、一年目の挑戦として適切だと思いました。そこで日本と宗教や文化面で大きく違うマレーシアに存在し、他と比べると安い費用で行けて現地の学生とペアになれるバディ制度のあるUTMへ参加しました。

二週間とほかのプログラムと比べて短かったですがその内容は濃かったです。授業がある日は午前中2回の授業、午後も二回と多めでした。しかし、授業内容はUTMの施設についてやバディとコミュニケーションのきっかけになるものばかりで辛くはありませんでした。マレーシアの環境や文化について学ぶためにバスで実地見学もあり独特な生態系や伝統衣装を見てマレーシアの歴史も学べる貴重な経験となりました。また、生活についてですが日本から風邪薬を持っていくことを強くお勧めします。現地は年中安定して30°前後の気温ですがショッピングモールなど施設ではクーラーが効きすぎていて寒く感じました。自分も急な体調不良が一度起こり持ってくればよかったと後悔しました。他にも、特に心配だった食事面は口に合うものが意外にも多くチャーハンなど米を使う料理がおいしかったです。辛い料理がほとんどでしたがうまく店の人との会話で辛いソースを抜くことができる店もあったので口に合わない場面はありませんでした。バディたちと食べる場合大人数になるためイカードよりも現金を使う場面が食事では多かった気がします。

これを見て迷って迷っている人へ、帰る直前まではもう1か月いれる気分(本気)でしたが日本にきて数日すると体に一気にがたがきました。初めての海外で予想以上に環境の変化が大きかったのでしょうか。2週間は自分が海外へ向いているかどうか試せるという意味でちょうどよい期間だと思います。芝浦にはグローバルPBL等他にも海外へ勉強に行ける機会がたくさんあります。そのきっかけとして語学研修はお勧めできます。



ボディとのコミュニケーションを通して、自然と実用的な英語力と会話力を向上することができました！

工学部 電子工学科 1年 春日千花さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア UTM

私は大学生のうちに海外に行きたいという気持ちがあり、今回の語学研修に参加しました。自分の語学力に自信がなかったため、ボディ制度のあるマレーシア工科大学のプログラムを選びました。語学研修が始まるまでは、「自分の英語が通じるのか」「友達は作れるのか」など、様々な不安がありました。

いざ語学研修が始まると、あっという間に2週間が過ぎ去っていました。Instagramを使った授業やゲームをしながら英語を学んでいく授業など、英語を学ぶというよりも、自然と英語が身につく環境だったと思います。授業が終わった後は、マレーシアのボディと芝浦の学生8人程度でショッピングモール、遊園地や有名な観光地などいろいろな場所に連れて行ってもらいました。

語学研修に行き、英語を学ぶことの重要性を改めて感じました。「伝えたいことがあるのに単語が出てこない」「聞いたことある単語なのに意味が出てこない」など自分の実力のなさを実感したので、将来に向けてコツコツ英語の勉強をしていきたいと感じました。

またこのプログラムで仲良くなったマレーシアのボディや芝浦の学生とは今でも連絡を取り合っています。2週間毎日同じメンバーで授業を受けたり行動を共にするので、1人でこのプログラムに参加してもたくさんの友達を作ることができるので安心してください。

バディとの交流で、語学力や勉学に対するモチベーションを得ることができました！

工学部 土木工学科 1年 篠崎裕一さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

私が留学に参加した理由は、友達がアメリカに留学をしており、それに感化されたためです。私にとって初めての海外であったため、日本から近場であり、文化も似ている、そしてバディ制度という現地の学生と交流ができるUTMの語学研修に参加しようと思いました。

向こうでのスケジュールは、授業、キャンパスツアー、課外学習で構成されており、午後5時ぐらいに終わります。その後にバディと夕飯を食べに行ったり、街を探索しました。授業は聞くだけの授業とは違い、実際に生徒自身が考えるアクティブラーニング的な形式を取っているなので、退屈しません。また、最後の授業では、プレゼンテーションの発表をします。それにあたって、プレゼンの作り方など指導してくれるため、私のようなプレゼン初心者にも優しい授業構成になっていました。

ところで、なんといっても、このプログラムの1番のメインはバディ制度です。一人につき一人のバディが付きまます。UTMの学生は本当に親切で、わからないことがあると親身に教えてくれたり、言いたいことが伝わるまで辛抱強く聞いてくれたりします。そのため、留学をためらう理由が、人に迷惑をかけたくない、伝わるかどうか分からない、と思っている人には本当におすすめのプログラムだと思います。現地の学生は勉学に対してはとても勤勉で、遊びなどの楽しむときは楽しむ性格の人が多いです。そのため、夜は基本、外食になります。現地の物価はとても安いので、日本の外食よりお金は全然かかりません。また、いろいろな店に連れて行ってくれます。マレーシアでは、マレーシア料理やインド料理、タイ料理、中華といろんな種類の飯が食べれることもマレーシアのいいところだと思います。マレーシアのジョホールバルにはたくさんモールがあります。その中には日本のお店（ファミマ、セブン、イオン、ユニクロ、など）もあるので、日本を身近に感じられる。

今回この留学を通して、海外に行くことの楽しさ、現地の人と交流する楽しさ、普段自分が食べないような食べ物を食べるという未知、その全てが面白いということを知りました。本当に楽しかったです。

英語に対する抵抗がなくなった 最高の経験



システム工学部 機械制御システム学科 1年
横田 知里さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： マレーシア工科大学 UTM

私がこの語学研修に参加した理由は実践的な英語に一度触れてみたかったからです。かといって、明確な目的は自分の中にありませんでした。そのため、こんな軽い気持ちで行ってきいていいのかという不安を抱えていましたが周りの仲間も同じような人がいたので安心できました。

このプログラムは期間が2週間と短いものですが、短いからこそ初めて海外に行く人も気軽に参加できると思います。期間中は現地の学生が1人につき1人、「バディ」として生活をサポートしてくれます。現地での授業はすべて英語ですが、分からないところを聞くとこちらがわかるようにしゃべってくれるためとても心強かったです。私自身英語はできるほうではなく、なかなかしゃべれなかったのですがバディ達は言葉が出てこなくても待っていてくれる上、拙い英語でも案外通じたりするため英語をしゃべることの抵抗はあまりなかったように思います。

授業はほぼ毎日ありますが、ジャングルに探検に行ったりインスタの勉強をしたりとイベントのような授業が多かったため苦には感じませんでした。中には一日バディと親交を深めるためのイベントということで学生たちだけでボーリングやナイトマーケットに行ったりもしました。

私はこの2週間を通して英語に対するモチベーションが大きく変化しました。研修前は勉強の一環だったのですが今ではバディや現地の友達ともっと仲良くなりたいという思いで勉強しています。この研修が勉強になったのはもちろんですが、なによりたくさんの人たちと出会えて気の合う仲間を見つけられたことが最高の経験だと私は思います。



日本ではできないことができました。

システム理工学部 環境システム学科 2年 伏江玲

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

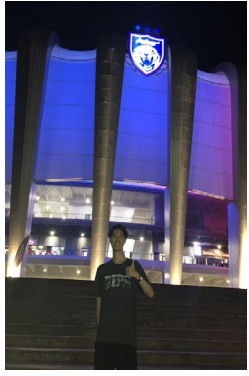
■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア：UTM

大学生のうちに海外へ行ってみたいという思いから、とりあえずいきやすいマレーシアにいくことに決めました。初めは一人の友達もない状態で、友達をとくに作る気もなく、英語もまじめに勉強してなかったのが本当に語学研修を充実したものにできるか不安でした。

しかしそんな不安はすぐに消え去りました。マレーシア到着の初日から英語で話しかけられ一日目はやはりスピーキング、リスニングになれることができずコミュニケーションが困難でした。しかし二日目から急に慣れ始めてコミュニケーションをとれるようになりました。朝から晩まで英語で話す環境に置かれるといやでもある程度は話せるようになるんだなあと思いました。

しかしなんといってもこのプログラムの目玉は日本人以外の人たちと親睦を深められることです。バディ制度のおかげもあってかたくさんマレーシアの学生に囲まれて遊びや観光などに誘ってもらえて毎日が本当に充実していました。とりあえず留学を迷っている人は絶対に行ったほうがいいんだなあと思いました。僕もこんなセリフはどうせ嘘だろう思っていたが結構本当でした。



現地の学生と一緒に過ごすことで英語力が身に付き、より英語を勉強する意欲が高まりました。

工学部 電子工学科 2年 原 秀徳さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

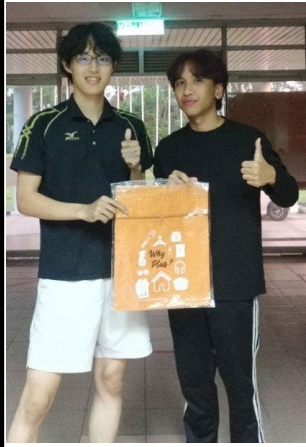
■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： マレーシア・UTM

海外に行ってみたいという単純な理由で語学研修のプログラムへの参加を考えました。マレーシアUTMは2週間という短い期間でしたが、一人一人にUTMの生徒がバディとしてついてくれて現地の学生と交流する機会が多くあるのは非常に良いなと思ったのと、アメリカなどに比べて費用が安いということで参加することに決めました。

滞在期間中は非常に素晴らしい経験をすることが出来ました。まず最初に学校内をいくつか回ったのですが学校内は車での移動が必要なほど広くとても驚きました。バディと会うまではどんな人なのだろう、自分の英語が伝わるのだろうかなど多くの不安がありましたが、バディの方たちはとても優しく、向こうでの生活はとても新鮮で楽しく過ごせて2週間があったという間に感じました。特に授業が終わった後や1日フリーの日にバディの方たちとご飯を食べたりいろいろな場所に出かけたことはかけがえのない思い出です。

2週間という短い期間でしたが今回プログラムに参加したことでいくつか得られたものがありました。1つ目は勉強への意欲です。もちろん英語はより勉強をしてもっとたくさん会話ができるようになれたいと思えるようになれましたし、UTMの学生の勉強に対する姿勢をみて英語以外の勉強もより一層頑張ろうと思いました。2つ目は多くの友人をつくることが出来ました。一人でプログラムに参加したのですが、一緒に参加した芝浦の学生やUTNの学生と一緒に過ごすうちに仲良くなれました。今後また語学研修などのプログラムに参加したいと考えています。



語学研修を通して、自分の非力さを痛感し寄り一層自分の英語力に危機感を感じました。

工学部 機械機能工学科 2年 岡崎 圭佑さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先: マレーシア・UTM

私以外の家族は皆、海外経験をしており、海外に魅力を感じていて私も海外経験を試してみたいと思い今回の語学研修に参加させていただきました。参加してみると周りの人たちは私より英語力が遥かに上でマレーシアUTMの皆さんの会話にもついていけず、さらに初めての海外経験で不安な気持ちになり、二週間も耐えられるか心配でした。ですが、UTMの皆さんはとても親切で英語が未熟な私にどんな時でも付き合ってくださいました。とても頼もしく感じました。徐々に耳も慣れてきて、英語が聞き取りやすく感じ意思疎通が少しですができるようになりました。私はいろいろ恥をかき、迷惑をかけてきました。ですが、この経験を学生の時に経験してすごくよかったです。英語のモチベーション向上にもなりました。この経験を活かし、英語力を伸ばし今度は私自身が頼れる存在になれるようになりたいです。



積極的に発言する力が身につきました！

工学部 機械工学科 2年 中原 優可 さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア UTM

海外に行ってみたくこのプログラムに参加しました。私がこの研修に参加を決めたのは英語を身につけるというよりも、海外の文化に触れてみたいと思ったからです。マレーシアに決めたのは費用が安く、最終日はシンガポール観光もできるからでした。記憶にないくらい幼いころに海外に行ったきりだったのでほぼ初めての海外でした。

UTMでは一人一人にUTMのバディがついてくれて放課後に夕飯を食べに行ったり、大学がない日には観光地に連れて行ってくれました。二週間毎日外出をしたのであつという間に時間が過ぎました。大学では、中学レベルの英語を学びました。授業内容は難しくないで新しく英語を学ぶというよりは、積極的に発言する力を身につけることができました。宿題や、最終日にはマレーシアでの思い出をプレゼンするのですが、そういった文章はバディに添削してもらいました。

ここからは研修に行く際に知っていてほしいことについてです。処方されてるお薬はちゃんと持っていきましょう。また整腸剤も持って行ったほうが安心かと思えます。整腸剤のおかげかはわかりませんが、歯磨きやうがい水道水を使ってもおなかを壊しませんでした。また、猫が大量にいるのでアレルギーを持っている方はバディに伝えましょう。猫を遠ざけてくれます。

本当に楽しい研修でした。私は全く英語がしゃべれなかったですが、知っている簡単な単語やジェスチャーで伝わりました。またUTMのバディたちもゆっくり簡単な英語で会話してくれるので、英語を話すことへの不安や苦手意識がある方でもぜひこのプログラムに参加してほしいと思います。



英語のモチベーションアップ！最高の思い出が沢山できました！

工学部 応用化学科 3年 小柳柚月さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可 派遣先：マレーシア・UTM

大学1年生の時から留学に興味はありましたが、コロナ禍という事もあり中々行く機会がありませんでした。しかし、やはり行きたいという強い思いがあり今回参加しました。このマレーシアのプログラムでは、一人ずつ現地の学生(パディ)がつく事に加え、一日の授業時間も長いため楽しみながら英語を学べそうだなと思い選びました。

滞在時の一日のスケジュールは、平日は朝8時集合し、バスで寮から学校に向かい午前中は2コマ授業をし、昼食は学校内のフードコートなどでお昼を食べ、午後は1コマと30分ライティングをして終わりです。授業は、インスタグラムのリール動画を作ってアップしてみたり、チームになってゲームをしたりなどとても楽しみながら英語を学ぶことができました。また、アクティビティではキャンパスツアーや伝統的な衣装を着たり遊びをしたりなどマレーシアならではの文化を体験することができました。放課後は、パディと夕飯を食べたりショッピングしたりカラオケしたりと毎日様々な所に連れて行ってもらいました。

2週間という短い期間ではありましたが、沢山の学びを得ることができました。パディと話す中で上手く英語で伝えられなかった事がありとても悔しい気持ちになりました。そのため、次会う時までにもっと英語を話せるようになりたいというモチベーションに繋がっています。このプログラムに参加し沢山の思い出ができ自分の視野を広げもっと様々な事に挑戦したいと思いました。



留学先で友達ができることで、
語学勉強のやる気がUPしました！

工学部 応用化学科 3年 深沢千裕さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可 派遣先：マレーシア UTM

このプログラムに参加を決めた理由は、2つあります。1つ目は、語学力向上のためです。私は、高校生の時から年英語に苦手意識を持っていたので、英語の勉強を避けてきました。しかし、語学能力は今後の人生で必要不可欠であると考えたため、苦手意識を払拭するためにこの語学研修に参加を決めました。2つ目は、UTMにしかないbuddy制度にとっても魅力を感じたため、この派遣先を選択しました。現地に行っても日本人ばかりで固まってしまえば言語が身につかないので、不安もあったが、強制的に英語を使える環境に身を置くことで多くのことを吸収できると思いました。

研修中は授業の時間が多くありますが、日本の授業のような座学はほとんどなく、キャンパスツアーをしたり、英語でゲームをしたり、コミュニケーションをとる授業が多くとても楽しかったです。お昼、夜ご飯は毎日buddy達何組かで一緒に食べました。様々なローカルフードを教えてもらったり、ショッピングモールに行ったり、遊園地やボウリングなどにも行きました。UTMの生徒の方々が本当に優しくフレンドリーな方ばかりで、とても楽しい二週間を過ごし、同時に英語でのコミュニケーションの勉強になりました。また、今の自身の語学力では伝えきれないことも多く、もっとたくさんのお話を語り合いたかったなど、今後の語学勉強のモチベーションアップにもつながりました。間違いなく、大学生活において有意義な経験になったので、迷っている方は酸化するべきです！



バディと1対1で組まれるため、2週間という短い期間ではあるものの非常に貴重な体験ができました。

工学部 情報通信工学科 2年 高橋幸輝さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可 派遣先：マレーシア・UTM

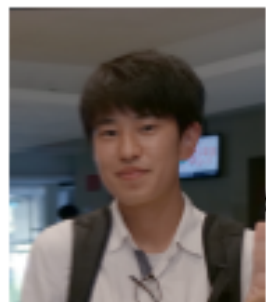
海外に勉強できるプログラムで行ってみたいと思っていたため語学研修を選択しました。

グローバルPBLに参加してみたいと考えていたためその前段階として紹介されていたことも理由になります。UTMの2週間を選択した理由としてはほかのプログラムに比べて、値段設定の安さとプログラム内容に惹かれ選択しました。すべて自分で出費したため芝浦工業大学が行っている奨学金も非常に助かるサービスでした。プログラムを体験した感想としては、とても楽しかったです。ここまで楽しい経験になるとは思いもしませんでした。マレーシアでの滞在期間はバディというUTMの在學生と1対1でペアになるようになっているので非常に濃密で有意義な時間を体験することができました。普段の会話やLINEでのやり取りも当然のことではありますがすべて英語でやり取りするのはずっと日本にいただけでは絶対に得ることができない経験でした。授業としては2時間が3コマと多いですがアクティブなものも多いためそこまで苦ではありませんでした。最後にちょっとしたプレゼン発表のようなものがありましたが高橋さんには大変ではなかったです。

短期間ではありましたが今まで自分の触れ合ったことのない異国の文化や慣習に少しでも触れることができるととても面白かったです。自分の記憶に一生残る大切な思い出となりました。

シンガポール観光は個人的にはそこまで面白くはなかったですがいい社会見学になった気がします。今回の経験を糧に今後も英語学習に励み、グローバルPBLなどのプログラムに積極的に参加していけたらなと感じました。

今回の語学研修をサポートして下さった関係者各位皆様まことにありがとうございました。



もちろん英語についてもたくさん学ぶことができるが、それだけにとどまらないのが留学の魅力。

工学部 情報工学科 2年 和田 一真さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：マレーシア・UTM

留学を考えるようになったきっかけは、英語力がこれからの社会でどこで働くにしても必ず重要になるスキルだと考えていたことが主な理由です。今時ではインターネットを介してコミュニケーションを練習する方法などは無数にありますが、日本にいると今ひとつ集中して時間を確保したり、継続して続けることが難しいことから、留学を決めました。

私が選んだプランはマレーシア工科大学のプランでしたが、当初は大きな理由はなく決めていました。結果としてはこのプランにしてとてもよかったと感じています。主な理由はいくつかありますが、何よりも現地の学生（バディ）が各日本人一人一人についてくれることが大きな理由です。平日は午後5時まで授業があり、その後の時間をバディとともに過ごすことになるのですが、一緒に夕食を食べに行ったり、買い物をしたり、遊んだりなど、二週間を通してかけがえの無い時間をともに過ごすことができます。実際、私の今までの人生の中で最も印象的な二週間でした。また、授業についてですが、内容はプレゼンテーションをしたり、英語で説明をする動画を撮影したりなど、アウトプットを重視する体制は海外ならではのようです。しかし、そこはしっかりとフォローが入るので心配する必要はないです。その点についても非常に有意義な経験になったと思います。

最後に、もし参加を少しでも検討しているのであれば、不可能な理由がない限り絶対に参加した方が良いです。それは、言葉では表せないほどのたくさんの経験が、私に新たな視野や関係を与えてくれたからです。私は2年になって参加しましたが、1年生でも決して早すぎることはなく、むしろ参加していた大半は1年生だったと思います。そして、私はこの経験を通して次はグローバルPBLなどにも参加したいと思っています。



マレーシア人の友達(右)

座学だけでは分からなかった、 英語を話すという経験の重要性

デザイン工学部 デザイン工学科

生産・プロダクトデザイン系1年 伊藤 楓さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可

派遣先:マレーシア UTM

プログラムに参加した動機

今まで海外に1度も行ったことがなかったが、
将来を見据え大学のGPBLに参加したいと考えている。
しかしながらGPBLは専門分野を英語で話し、英語でディスカッションを
する必要があると考え、まずは海外に慣れるところから始めようと思った。
マレーシア工科大学のプログラムでは、
1人1人に現地の学生も付いてくれるバディ制度があり、
異国の地に1人で放り出されるような心配もないと思いプログラムに参加した。

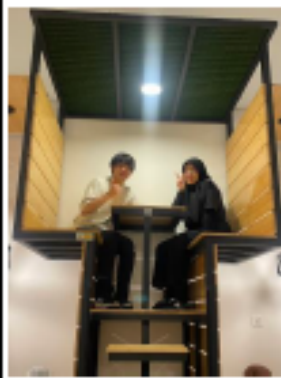
参加中の様子

授業は1コマ2時間、授業 ティーブレイク 授業 ランチ 授業のようになっている。
学ぶことは基本的な英語を用いた自己紹介やInstagramのリールを作成したりと
毎日飽きることは無かった。
日本人が授業を受けている間、マレーシアのバディ達はサポートに回ってくれて
先生の指示がイマイチ分からない時などはバディが噛み砕いて教えてくれた。
毎日のように授業が終わってから、
バディ達とご飯を食べに行き、マレーシア料理を沢山味わった。
学校が休みの日は皆でショッピングモールに行ったり、ジャングルに行ったり、
完全自由の日にはバディが車を出してくれて複数人でマレーシアの観光名所を
日付が変わる前位まで巡ってくれた。毎日くたくたになって帰ってきて、
英語を用いながら文化を吸収する暮らしは楽しかった。

気づいたこと

日本に居ながら学んでいた英語は本当に海外で通じると分かったのが大きかった。
しかしながら現地の人はマレー語と英語を当たり前のように使い分けている為、
まだ英語をべらべら喋れない自分の無力さも思い知った。
それでも、バディ達と文化、趣味や専攻分野について英語を用いて話す経験
というのは今回が初めてで、それぞれ日本語とマレー語を母国語にしているが
英語を話すことで全く異なる人と意見交流ができるのが感慨深かった。
入学してすぐプログラムがあって、参加するか迷った時期もあったが
今考えると1年生という早い時期に参加出来てよかったと思う。
英語で話す楽しさを知り、今後の学習に間違いなくプラスに働く留学になった。





自ら沢山の現地のパディに沢山話しかけに行き、積極的に交流を図りました。

デザイン工学部 デザイン工学科 1年
菱沼晴人 さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア工科大

私は現地のパディに沢山話しかけ、自ら積極的に国際交流をすることが出来ました。普段から大宮間バスのグローバルラーニングcommonsで多くの留学生と交流をして英語を話す練習をしているのですがそこで普段からしているスピーキングの練習の成果を留学期間中大きく感じる事が出来ました。

私は常日頃から英語を話せるようになりたいと考えていて、今回の語学研修に参加しました。語学研修では、一日中現地のパディと生活を共にするため普段の大学生活では体験することのできない特別で貴重な経験をすることが出来ました。常に英語に囲まれた環境に身を置くことによって、自分の英語に対する意識がさらに磨かれ、話している最中に思うように英語を聞き取れなかったときなどに自分の能力のふがいなさを実感し、さらに英語の練習を頑張ろうと思うことが出来ました。そこでわからない単語を自分で調べたり、その発音を翻訳機で聞いて一人の時に様々なことを調べ、少しずつではありますが知らない単語を減らしていくことで会話で少しでも困ることが減らせるように毎日努力し続けることが出来ました。

留学では現地のパディと交流を重ねることで、2週間という短い時間ではありますが絆を深めて仲良くなる事が出来ました。また、異文化をもつ国に住む人と多くの時間を共にすることによって新たな価値観をお互いに共有しあうことが出来たりお互いの人種、国の文化の違いを学ぶことが出来、自分の中の価値観や視野、さらに意識を磨くことが出来たと考えています。普段滅多に経験することのできない留学を通じて、自分を一步成長させることが出来たと思います。

後輩へのメッセージとして、英語に自信がなくても積極的に語学研修に参加することをお勧めしたいです。英語を話す上で、文法が身につけていなかったとしても文法ばかりを気にせず心で話すことが大事だと多くの留学生、外国人の人が言いますが私もその通りだと考えていて英語を使ってほかの国の人と交流することによって今まで気づくことが出来なかったことや、多くの発見に出会うことが出来て人として成長することが出来ます。そのため強くお勧めしたいです。

バディ制度があることにより現地学生との交流が豊富で、常に英語と触れながら現地文化についても学ぶことができた。

建築 学部 建築 学科 2年 尾竹 良太さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・UTM

日本ではあまり積極的に英語を活用することが少なく英語に親しくないため、不安はありましたが、異文化を感じる経験などをもしたいと思っていましたため、思い切って申し込みをしました。UTMは二週間のプログラムで、程よい長さだったということと、比較的初心者向けのプログラム内容だったので選びました。

このプログラムは一人一人にバディとしてUTMの学生とペアを組んで行なわれます、基本朝の8時30分から夕方5時まで授業が行われ、放課後にバディと出かけたり、夕食を食べに行きます。英語の授業自体は初歩的な内容で、文法や発音、日常会話などについて学びました。最後にプレゼンターションを行い2週間を振り返ります。授業にはキャンパスツアーが三回ほどあり、広大なUTMのキャンパスをみんなで見て回ります。授業だけでなく、みんなで郊外へ出かけたり、観光地へ訪れたりする日もありました。一日のみ、バディと過ごすひがもうけられており、バディとの仲を深めることができました。授業中は、バディが補助をしてくれるため、わからないところはすぐに解決することができました。

この2週間で、英語と触れ合えただけでなく、現地の文化について学んだり、バディとの交流によって日本との相違点を知ったりと、様々なことを学び多くの経験をすることができました。終盤では、2週間だと短い、延長したいと思うほどとても充実した楽しいプログラムでした。何度も言うように、このプログラムでは一人一人にバディが付きます。その制度がとてもいいと僕は思っています。自由な時間はなかなかとれないけれど、放課後のバディとの時間があることは、他のプログラムより優れているところだと思います。初めての海外がここでよかったです！



充実しすぎた2週間

建築学部 建築学科 2年 藤山一輝 さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： UTM

今回、マレーシア工科大学のプログラムに参加しました。もともと大学生のうちに海外研修には参加しようと考えていて、バディがついてくれるUTMのプログラムが一番英語に触れられると思いこれを選びました。

滞在期間中は8時30～17時まで授業でそのあとバディと夕食や観光、ショッピングなどに連れて行ってもらい、22時頃に戻ってくるという生活をしていました。休日もあり、ジャングルに行ったり、マレーシアの第2の都市であるジョホールバルで買い物をしたりしました。現地のバディたちは、とってもパワフルで親しみやすく、とにかく濃い2週間になりました。

プログラムを通して今後の英語勉強のモチベーションが上がりました。特にリスニングをもっと強化しようと思いました。実際英語で会話してみて、スピーキングは自分のペースでできるけど、リスニングは相手のペースで現地のマレーシアの訛りも含まれていて最初の数日聞き取るのに苦労しました。もし、マレーシアに行く前に勉強していくとしたらリスニングを強化することが大事だと思いました。ここからは実際の現地の様子を少し書いていこうと思います。服装は基本的に暑いので半袖がメインになると思います。UTMにはドレスコードがありますが、襟がついていれば色や柄は何でもいいようでした。室内は寒くジャングルにも行ったので長袖や羽織るものを持って行ったほうがいいと実感しました。マレーシアの食事は全部辛く、飲み物は信じられないくらい甘かったです。しかし、2日目からはバディたちがレストランに連れて行ってくれるので、辛いのが苦手な自分でもそんなに心配はいらなかったです。マレーシアで困ったことといえばサラダ不足ぐらいでした。UTMの宿はあまりきれいではなかったです。しかし、2週間過ごす分に困ることはなかったです。しいて言うなら、日本のお風呂とトイレと違いすぎて物足りないという感じでした。このプログラムはほんとに毎日が充実していて最終日別れが寂しいと思うほどでした。



パディとのコミュニケーションを通して楽しく
英語を学べました。
帰国後も連絡を続けていて、語学学習のモチベーションとなっています！

建築学部 建築学科 1年 矢野杏香 さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可 派遣先：マレーシア UTM

海外留学への憧れが強くありましたが、自分の語学力に自信がなくてなかなか踏みきれずにいました。UTMのプログラムは、2週間という短期間で、パディ制度があるので他のプログラムより参加しやすいと感じて、参加することを決意しました。

滞在期間中は、午前中に2時間、午後は2時間×2コマと約30分の授業を受け、放課後はパディと出かけるという生活でした。授業の内容は特別に難しいものではなく、コミュニケーションをとることがメインとなるようなものが多く気軽に取り組むことができました。また、放課後は、パディと一緒にショッピングに行ったり、夕食を食べに行ったり、遊びに行ったりしました。移動時間も含め、パディと英語でコミュニケーションをとるので、楽しみながら英語を聞く能力、話す能力を向上させられたと思います。

2週間という短期間ではありますが、それ以上の期間いたような気がするくらいな濃密な時間を過ごすことができました。パディや友達とは帰国後もグループでビデオ通話をしたり、個人的にチャットでやり取りしたり、今でもずっと連絡をとり続けています。2週間の期間で終わりではなく、その後も英語を学習するモチベーションになってくれています。パディと1対1でコミュニケーションをとるのは少し不安に思う方も多いかとは思いますが、実は思っているよりも苦では無いです。聞き取れなくても聞き返したらゆっくり話してくれたり、少し簡単な単語に言い換えて話してくれたりもしました。語学研修がきっかけで、国や文化、宗教の垣根を超えて友人関係を築くことができ、もっとたくさんコミュニケーションが取れるようになりたいと思い、より積極的に英語を学習するようになりました。

2週間のすべてが 素敵な経験で思い出です！



工学部 応用化学科 2年 吉良 優里さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

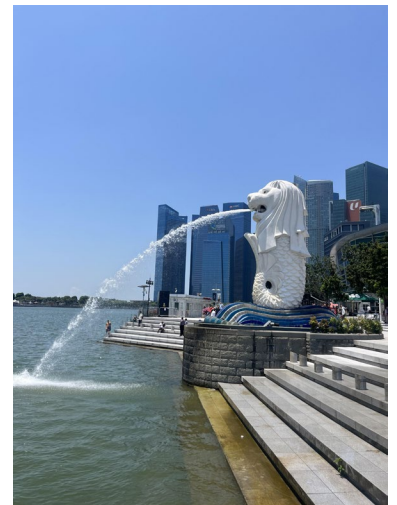
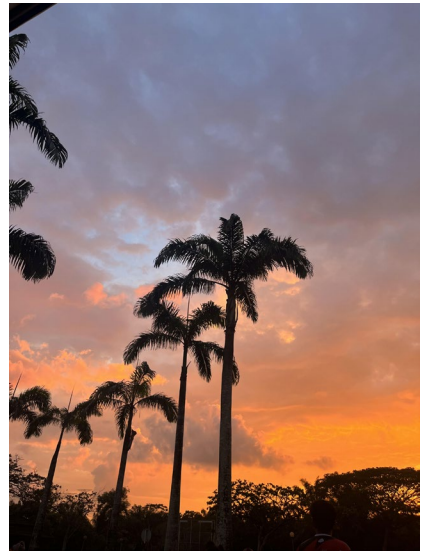
■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： マレーシア・UTM

入学当初から留学はしてみたかったため、時間と心に余裕ができたタイミングで参加しました。4週間の期間をあけることが難しかったことと、飛行機に長時間乗ることに不安があったためアジア圏の2週間のプログラムから選びました。マレーシアはbuddy制度があり、日本人1人につきUTMの学生1人が付いてくれるので英語を話す機会が多かったと感じました。また、帰国の際、シンガポール観光の時間が少しあるのも魅力だったと思います。

授業のある日は8時頃に寮を出てバスで授業を受ける建物まで移動し、17時頃に授業が終わります。その後、一旦寮に帰り、夕飯をbuddyと食べに行くという形でした。また、マレーシアにはlunch breakだけでなく、10時半頃にtea breakがあったのが印象的でした。初日のtea breakでサンドイッチを食べた後すぐにお昼ご飯が出てきて戸惑いましたが、基本的にはtea breakで何か食べたい人は自分で好きなものを買っていくため、文化の違いとして楽しめました。buddyはみんな優しく、とてもフレンドリーだったので自分のbuddy以外の学生とも親しくなれました。たくさんの友達ができたこともこのプログラムの特色ゆえだと思います。留学後も交流が続いているため、英語学習のモチベーションになっています。

語学研修への参加は分からないことだらけで不安だと思いましたが、参加してよかったと思えるはず。今まで知らなかった世界を見ることができ、今まで関わる機会のなかった海外の学生と交流することができ、2週間慣れない土地で共に支えあった仲間ができます。留学中に苦労したことも良い思い出、良い経験になるのでぜひ参加してみてください。



いろいろなことを経験し、学んだ2週間になりました！国内だけでなく、海外の大学の友人もできました！

工学部 材料工学科 3年 森嶋 晶さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： マレーシア・UTM

私は大学に入った頃から、実際に海外に行って英語を使いながら学びたいと考えていました。また、現地学生(バディ)との交流の機会が豊富であることを知り、英語を使う機会が多く、また、交友関係を広げられる、と考えUTMコースに参加しました。

滞在期間中は、午前中4時間、午後2時間の英語授業を受講しました。授業ではテーマに沿ったディスカッションをしたり、英語でプレゼンテーションをしたりしました。さらに、インスタグラムを使って動画をつくるというアクティブな授業もあり、時間を忘れて楽しむことができました。学校施設の見学では、新旧の図書館を見学したり、学校内にあるモスクなどを見学したりしました。寮から教室までバスで5分くらいかかるほど学校の敷地は広く、その広さに驚きました。マレーシアの文化体験では伝統衣装を着たり、伝統的な遊びを体験したりしました。放課後はバディと一緒に夕飯を食べに行ったり、ショッピングモールに行って買い物やボウリングをしたりしました。現地の人はとてもフレンドリーで親切な人が多く、一緒に写真を撮たくさん撮ったりしました。

今回のプログラムを通して、私は、様々なことを経験し、学びました。マレーシアでの食事や生活などは、日本と違うところがたくさんあって大変な時もありましたが、それ以上にとても興味深く、貴重な経験になったと同時に、日本で生活している環境は海外では当たり前ではないということを実感しました。2週間の英語漬けの生活を体験して、私は自分の英語力を把握することができたとともに、まだ力不足であることを痛感したので、今後の英語学習のモチベーションアップにつながりました。今回の留学をきっかけに、学科や学年はもちろん、国を超えた友人をつくることができ、とても充実したものになりました。本当に参加して良かったと思いました。

工学部 材料工学科 3年 森嶋 晶さん

